



おかわり
ありませんか？
こかせ
議会です！

2025 年の幕開け

ホームページはこちら▼



<https://www.cong.go.jp/gijaku/index.html>

ポチッ
としてみんなの

令和6年五ヶ瀬町議会第4回定例会 令和6年度一般会計予算は 1億1,000万円を増額し

総額 ➡ **67億1,850万円に!!**

令和6年度一般会計補正予算（第5号）の主な内容は次のとおりです。

主な投資的事業

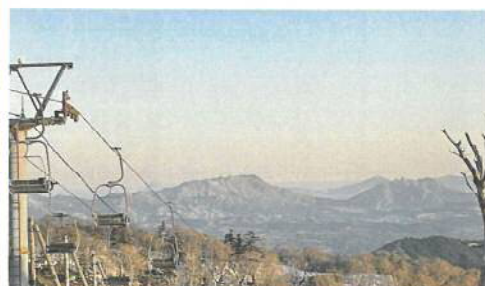
事業名	事業費	事業内容
県営土地改良事業負担金	1,755万円	中山間地域総合整備事業における負担金 (兼ヶ瀬地区・世界農業遺産地区の営農飲雑用水施設等整備)

主なソフト事業

事業名	事業費	事業内容
第三セクター運営 資金補助金	1,500万円	五ヶ瀬ワイナリー運営資金補助金
第三セクター特別 対策支援事業補助金	1,000万円	五ヶ瀬ハイランドの運営経費に係る補助
社会福祉協議会 運営費補助金	850万円	介護サービス部門に係る運営費補助
障害者自立支援事業 扶助費	1,600万円	介護給付・訓練等給付事業に係る不足見込分の増額



テープカットの様子



グレンデから見る阿蘇山

紙介
表紹

スキー場からの初日の出

今年は天候に恵まれて、素晴らしい日の出を拝むことが出来ました。

スキー場オープン

12月20日に3年ぶりにスキー場がオープンしました。

当日は、オープニングセレモニーが行われ、佐藤副知事や台湾の陳銘俊総領事ら8名がテープカットを行いました。

スキー場のイメージキャラクター南ちゃんの合図で、詰めかけたスキーヤーが一斉にスタートを切り、絶好のコンディションのゲレンデを満喫しました。

○工事請負契約の締結について5千万円以上の工事請負契約の締結においては、議会の議決が必要とされています。

【議案第83号】

工 事 名 令和6年度災 第2—2号
一級町道 本屋敷・波帰線道路
災害復旧工事
工事場所 五ヶ瀬町大字鞍岡小仁田山地内
工事期間 令和9年3月31日まで
落札業者 矢野・山崎特定建設工事共同事業体
契約金額 16億2,580万円



対象となる地滑り現場

令和6年 第4回五ヶ瀬町議会定例会議決結果

種類	議案名	審査結果	種類	議案名	審査結果
報告	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(専決第1号))	承認	議案	令和6年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第3号) について	可決
報告	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(専決第2号))	承認	議案	五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定に ついて	可決
議案	公の施設に関する条例の一部改正について	可決	議案	五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の 一部改正について	可決
議案	五ヶ瀬町国民健康保険条例の一部改正について	可決	議案	五ヶ瀬町長等の給与に関する条例及び五ヶ瀬町教育長の 給与の条例の一部改正について	可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第5号)について	可決	議案	五ヶ瀬町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町簡易水道事業会計補正予算(第3号) について	可決	議案	工事請負契約の締結について	可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)について	可決	発議	議員派遣について	可決

賛否の分かれた議案

【議案第75号】 (原案可決)

令和6年度 五ヶ瀬町一般会計補正予算 (第5号)

各議員の表決結果 (○：賛成、●：反対、欠：欠席、－：議長は賛否に加わりません。)

賛 否 一 覧	氏名	本 田 俊 徳	矢 野 宏	甲 斐 義 則	小 笠 原 将 太 郎	田 中 春 男	太 田 保 義	渡 邊 孝	甲 斐 政 國	佐 藤 成 志
	議案番号									
	議案第75号	○	○	○	●	○	○	○	○	－

一般質問

我が町政を問う

12月の定例会では、7名の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。
議員の質問と町長等の答弁を集約した内容については4ページ～7ページです。



原稿は、議員本人により作成されたものです。
全文記録は、3月上旬に五ヶ瀬町議会ホームページに掲載します。

五ヶ瀬町における女性の地位 と行財政改革について



おおい やすよし
太田 保義 議員

問 厳しい財政状況を踏まえ、給与の適正化、適正な定員管理が求められている。給食調理員の女性職場は安易に改革の対象とすべきでないと考えている。方向性は正しいか。

町長 少子化により集約すべき方向にある。女性の職場と給食のあり方は分けて考える。男性も配置しており女性に限定した職場では無い。方向性は正しいと考える。

固定資産評価替えによる耕作 放棄地の対応について

問 固定資産評価替えに伴う税制改正が実施された。税額が前年比35%余り値上げされた町民もいる。固定資産税には、耕作放棄地でありながら増税された田畑もあると推測するが対応を伺いたい。

町長

耕作放棄地となっている田畑については、所有者の申し出により、現地確認を行い現況により課税を行っている。

評価額が下がり、固定資産税も減額される。農業委員会との関係もあり、現況確認もしていると思っている。その旨通知はしている。現状が耕作放棄地ということになれば、中山間直接支払いの関係もある。関係者と協議しながら現地確認をしている。方向性としては、耕作放棄地には異常な課税をするというようなことはしない。

問 耕作放棄地を所有している町民が課税状況について確認をしたい場合には窓口はどこになるか。

町民課長

町民課になる。



耕作放棄地



かい まさくに
甲斐 政國 議員

有害鳥獣駆除班への補助金増額は

町長

県に対し、県費増額を要望したい
問 駆除班の現状と、補助金50万円はいづからか。

町長

鞍岡班 30名 鞍岡地区
桑野内班 21名 桑野内地区
三ヶ所1班 11名 坂本・内の口地区
三ヶ所2班 11名 牧・尾原地区
三ヶ所3班 17名 中央地区
5班で93名となっている。
補助金の50万円については、平成21年から県1/2・町1/2である。

問 15年が経過しており、駆除員は減少し物価も高騰している。対策を講じるべきではないか。

町長

駆除班ごとに活動内容に違いがあり、銃の有無もある。班の運営の状況・実情を聞き取りし、意見を参考に判断したい。また、県に対しても補助金の増額を要望していきたい。

問 中山間地域直接支払交付金制度の中で、有害鳥獣対策費として支援されていると思うが、どのような内容か。

農林課長

共同配分とされている交付金の1%を猟友会に補助している。令和5年度

は、313,350円で、使途については猟友会に一任している。

捕獲有害鳥獣補助金の現状と増額は

町長

捕獲と侵入防止策が効果的。増額は今後検討

問 被害を防止するには、捕獲により個体数を減らすことが重要。現在の補助金の現状といつから実施されているのか。

町長

イノシシ 9,000円(内、国費7,000円)
シカ 10,000円(内、国費7,000円)
7,000円
幼獣 5,000円(町単独)
平成25年から実施している。

問 11年が経過している。猟友会の方々には日当もなく車代もない。物価は高騰し経費も嵩む。捕獲した個体の処分費で課題となる埋設に助成すること、補助金の増額に繋がらないか。

町長

被害を減らすには、捕獲と併せ侵入防止策に取り組むことが効果的と考える。補助金増額については、捕獲に対する負担の全体を考慮しながら、今後検討したい。

問 農作物・耕地はもとより、山林にも被害を及ぼす。森林環境譲与税の対象になるのではないか。

町長

その時々工夫が必要。猟友会との十分な協議が大事。財源については参考にした。



わたなべ たかし
渡邊 孝 議員

令和7年度、五ヶ瀬町歳出予算について

問 令和7年度、町営住宅の建設予定と予算について伺いたい

総務課長

現段階では、赤谷広場に一般住宅を建設する方向で方針を確認している。近隣住民との意見調整を実施し実施計画を行いたい、建設戸数と予算額は未定である。

将来の農業と農地について

問 5年後10年後の農業を考え、今後、町としてどう対応する考えか伺いたい

町長

国の新たな農業農村基本法に大きく期待している。また、地域での農業に対する意見や考えを聞き町として何ができるかを考えたい。

問 農業法人や受託会社による農作業の受託組織の必要性について伺いたい

町長

その地域でどのような受託組織が必要なのか、また個人や集落で目指す方向性を真剣に話し合い今後のあり方が検討されると思う。

問 農地の維持管理について伺いたい

農林課長

引き続き、国の交付金を活用し、農地の維持管理に努める。また、令和7年からは中山間直接支払交付金

のスマート農業加算が新設される。省力化と効率化へつながればと考える。

問 ぶどう生産者減少対策として、ぶどう安定確保対策事業補助金の増額の考えはないか

町長

現時点では答えにくいところですが、総合的にいろいろ検討し分析する必要があると思っている。基本的にはワイナリーは町の大事な施設なので、様々な努力をして行く考えです。

小学校の山村留学について

問 小学校の存続を図るため、町内在住の祖父、祖母、叔父、叔母(親族里親)による山村留学制度を取り入れてはと思うがその考えは

教育長

一定の児童生徒数が確保された環境の中で、町内の豊かな教育資源を活用し、豊かな体験や対話的な学びを深めることは、様々な活動の充実のもとより、学校や地域の活性化、留学生自身の心の成長につながる多くの利点が期待できると考えます。

問 山村留学(親族里親)による様々な効果について

教育長

児童間のより良い人間形成に役立つ、里親や保護者の協力は地域と学校のコミュニケーション・スクールの実現にもなる。多くの地域住民が学校行事、各種イベントへの参加で、関係人口・交流人口の増加・地域の活性化にも貢献できるのではと期待するが、短期的な山村留学実施は様々な多くの課題も想定される。



やの ひろし
矢野 宏 議員

獣害対策について

問 本年は、イノシシの被害が多く農家にとっては深刻な問題となっている。獣害対策の現在の取組と課題を伺う。

農林課長

電気柵、防護柵支援の他に、くくり罠や新規の狩猟免許取得支援など捕獲活動に対する支援を行っている。課題は、猟銃免許保持者の減少から新規の担い手の確保と、捕獲指導員の拡充である。

問 最も被害が大きいイノシシと鹿の捕獲実績は。

農林課長

今年10月末現在で鹿が607頭、イノシシが225頭である。

問 鹿とイノシシで捕獲した1頭当たりの価格が違うが統一すべきではないか。

農林課長

現在鹿が1万円でイノシシが9千円だが、イノシシも1万円で統一するように検討したい。

問 捕獲指導員拡充の考えは。

農林課長

早期に増員できるように取り組む。

問 新たな取り組みについて伺う。

農林課長

捕獲班の負担軽減を図るため、スマート捕獲アプリの実証を進めている。

る。また、電気柵の通電状況を遠隔で確認できる実証事業を始めた。今後、さらに国や県の実証事業の活用を検討して、何とか実用化につなげていきたい。

本町の学校教育について

問 他の自治体との違いや本町の教育の強みについて伺う。

教育長

町内小学校4校によるシステム化されたG授業の展開。立地条件を活かした県をまたいだ学習活動の展開。特に義務教育9か年を見通した体験活動が体系化され、教育材が整っていることも、本町の大きな強みと考える。

問 本町教育の課題は。

教育長

複式指導は教師の負担が大きい。部活動の専門的指導員の外部人材の確保についても大変困難な状況である。

問 教育の町五ヶ瀬町として移住を検討している人へPRできないか。

教育長

他の部署をはじめ、学校、観光協会等と連携して、本町教育の魅力についても発信していけるよう検討していく。

問 今後の本町学校教育について。

教育長

教育のDX化や心の教育の充実、教職員の働き方改革など取り組む課題は多い。時代の変化に合わせた新しい発想で五ヶ瀬教育ブランドビジョンの充実、発展を図っていく。



たなか はるお
田中 春男 議員

五ヶ瀬ハイランドスキー場の 今期・今後の運営方針について

問 今期3年ぶりにスキー場が営業再開することとなりました。第三セクターの運営の事ではありますが、五ヶ瀬町にとって重要な位置づけにある施設でありますので、社長である町長としての率直な考えで答弁いただきたい。従業員確保が出来なかった場合に町職員を派遣することは出来ないか。

町長

職員の派遣は現実的には厳しいと思う。

問 冬場だけの営業では限界があると思うが、夏場を活用した今後の営業方針は。

町長

向坂山一带の活用が出来ないかと言う事で、再生検討委員会の提言書に基づいて令和7年度以降で具体的な取組を進めたいと思っている。

問 今後より良い方向で運営していくかを模索する中で、経営状況の改善が見られない時は、継続か撤退かの議論を町民で行う事が必要な時期が来ると思われる。判断すべき時期が来た時の町長の考えは。

町長

判断した時の考えは、その時にしか中々言えない。今現在は今進めている再生検討委員会では出される提言をきちんとやっていく。オールシー

ズンで楽しんでもらう事を目指すのが本来の趣旨で、今検討していると言う事です。

町内各所に防犯カメラの設置について

問 町内における防犯カメラの設置状況は。

総務課長

庁舎に関しては、1階・2階・3階の出入り口、階段・エレベータから廊下を見渡せる一に設置。公共施設では、病院・木地屋・スキー場・特産センターが設置済み。ワイナリーについては検討中。道路は町管理のカメラはない。

問 庁舎執務室へのカメラの設置の考えは。

総務課長

執務室への設置は現在設置のカメラで目的は足りていると思う。どちらかと言えば役場駐車場方向に向けたカメラの設置の検討が必要と思う。

問 役場駐車場に設置されるという事であれば時期はいつ頃になるのか。

町長

予算を伴うので、いろんなものを勘案して費用対効果が産めるような形で実施すると言う事を約束させていただく。

問 町内商店街、道路沿いへの設置の考えは。

総務課長

町独自ではなく、宮崎県及び宮崎県警と連携し、普及に努められればと思う。

問 通学路、学校出入口へのカメラの設置の検討は。

町長

現時点でされない、されると言う事ではないが、意見は真摯に受け止めて関係課と話し他の事業も含めて検討する中で、様々な意見を聞いてと言う事になる。



ほんだ としのり
本田 俊徳 議員

町長のホームページについて

問 人口減少対策を2年半の間での施策、実績を具体的に伺いたい。

町長

人口減少の速度を緩やかにして、人口が減少しても安全・安心で心豊かな暮らしを実現するために、限られた財源の中で、未来志向の町政運営を皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。少子化対策、移住定住策、子育て支援策が重要であると認識し、婚活イベントを再開。新たな取組として、女性の力を借りた出会いづくり推進員を設置し、結婚新生活に向けた支援制度をつくった。定住化策では、住宅分譲や、ここ近年整備を行ってきたが、一般公営住宅整備に着手した。また、移住定住サポートセンターを設置し、移住に関する情報や移住者に寄り添うための窓口として動き出したところである。さらには、空き家活用促進支援事業、移住者向け住宅建築支援事業、移住定住奨励金、移住支援金等の助成制度を設けている。

昨年度からは、庁舎内に各課を横断した移住定住作業部会を組織し、今年10月、同部会において、ふるさと回帰支援センターとの連携により、東京を会場に移住セミナーを開催している。

子育て支援では、中学生までの医療費無償化や出産子育て給付金、おむつのサブスク制度を始めた。

問 小迫の相談室を開設されているが、現在までの相談数と公開できる相談は町民に公開し、共有していいのでは。

町長

これまで20件程度の相談を受けている。内容の公開について、個人的な意見というのが多くて、公開したほうがいいものはない。

公園の環境整備について

問 五ヶ瀬ワイナリーの近隣に子供たちが遊べる公園を整備する考えはないのか伺いたい。

町長

町全体の公園の話は、大々的な整備というのとは現時点では考えていない。

問 三ヶ所川の淵の元のしゅんせつ工事が行われている。トイレや休憩所、駐車場等、施設を整備される考えはないのか伺いたい。

町長

今現在、我々がこれについて何か整備をするとか、整備の考えはないかと言われれば、今現時点ではそういう方向ではない。



おがさわら まさたろう
小笠原 将太郎 議員

企業誘致に対しての町長の考えは

問 これまでの企業誘致の実績は

企画課長

昭和51年被服工場、平成3年部品工場、平成17年に飲料水工場の3件である。

問 人口減少を防止するには、働く場所となる企業が必要だとおもうが

町長

企業や県の担当者との会い調査や情報収集を行っている。

問 企業誘致に特化したパンフレットはあるのか

町長

用意していません。

問 企業誘致の可能性について町長はどのように考えているのか

町長

何とも言えないのが本心である。

問 冷涼な気候と椎葉ダムで作られる電力が活用できるデータセンターを誘致してはどうか

町長

大きな目標に向かって進んで行きたい、いろいろな考え方があろうと思うので、ぜひご指導いただきたい。

修学旅行費への町の補助について

問 児童数の減少に伴い負担が増加しているが、補助をする考えはないのか

教育長

これまで同様に修学旅行の費用については保護者負担での実施をお願いしたい。負担を少しでも軽減できるように先生方と協議を進めている。

問 森林環境贈与税を活用してどうか？都市部の子供たちは税を利用して環境学習を行っている。

教育長

活用できる費用があることを知らなかった。今後、詳しく調べて行きたいと思う。

中古銃の購入への補助について。



問 中古銃の取得に対して補助を行う考えはないのか

農林課長

現在は新品の銃の購入が対象となっている。

問 補助を行う目的は

農林課長

有害鳥獣の対策で、猟銃の担い手の確保を目的としている。

問 銃砲店で購入する中古銃も対象とし、新規の担い手の負担を少しでも軽減してほしい。

農林課長

猟友会と相談し、検討させて頂く。

【株式会社五ヶ瀬ハイランド】

スキー事業は営業できず収益はなく、経費は給与、光熱費、使用料他で約1663万円となり、町からの3セク運営資金補助金や支援給付金等が収入となるので、実質利益は約161万円となった。

木地屋の宿泊事業は宿泊者が大幅に増加し、売上増となった。そのため売店売り上げの増収にもつながり、営業売上は1億988万円となった。

営業経費は、クレジット決済や旅行会社手数料の増加と、温泉券販売機・社用車2台分の使用料及び賃借料が主で、営業経費は1億849万円となった。3セク運営資金補助金とコロナ対策支援金を合わせた3700万円が収入とし、決算上は1250万円の利益となり、ハイランド全体では、830万の利益決算となった。

【五ヶ瀬ワイナリー株式会社】

工場売上高は、物価高騰により消費者の需要が伸び悩み、ワインの消費が低迷し696万円の減収となった。

ワイン館の売上高はコロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したことで、売り上げの回復を期待したが、前年度に対し197万円の増収で5185万円となった。

レストラン「雲の上のぶどう」は、外食、忘新年会や歓送迎会、同窓会など、宴会予約の回復が見られ、前年度に対し460万円の増収で1627万円となった。

営業経費は、徹底的な経費の節減に取り組み、約1632万円の経費が削減され、579万円の利益決算となった。

(まとめ)

五ヶ瀬ハイランド、五ヶ瀬ワイナリーのそれぞれの従業員は、現在の厳しい情勢の中に苦悩し、一生懸命営業努力して利益決算としている。また、それぞれの会社は、町からの補助金・給付金の応援はあるが、金融機関からの借入金是最小限になるよう努力していると思う。

だからこそ、実質的な経営者である町は、第3セクターの運営について自らの判断と責任により、徹底した効率化、経営健全化の取り組みを進め、財政規律の強化に努める必要があると考える。

また、第3セクターの経営が著しく悪化した場合は、将来的に町に多額の財政負担が生じる恐れがあるので、町は十分に経営診断と分析をし、抜本的改革を含む経営健全化に向け早急に取り組む必要があると思う。

ただ、スキー場は3シーズンぶりに念願のオープンとなり、町内も盛り上がり活気が戻って来ている。1人でも多くのお客様にご来場いただく様、議会一同期待している。

株式会社 五ヶ瀬ハイランド

総売上高		1億988万円
総経費	1億5316万円	
営業損益		▲4328万円
営業外収益		5259万円
【内訳】※町運営補助金		4000万円
※町支援給付金		1000万円
※その他収益		259万円
営業外費用及び法人税	101万円	
営業外損益		5158万円
当期純利益		830万円

期末累計損失（令和5年まで）1億4158万円

五ヶ瀬ワイナリー 株式会社

総売上高		1億5324万円
総経費	1億7526万円	
営業損益		▲2202万円
営業外収益		2303万円
【内訳】※町運営補助金		1000万円
※町支援給付金		1000万円
※その他収益		303万円
営業外費用及び法人税	370万円	
営業外損益		1933万円
特別利益（ぶどう安定価格補）		848万円
当期純利益		579万円

期末累計損失（令和5年まで）1億1955万円

議会報告会を行いました!!



鞍岡の鞍楽会場の様子

桑野内 11月5日 荒踊の館 11月7日
町役場 11月6日 鞍岡鞍楽 11月8日

議会活動説明の後の意見交換会で、多くの貴重なご意見やご要望をいただきました。

今回は特に3つのテーマ(第3セクター、農林業振興、学校、子育て)について御意見を伺いました。

今後の議会運営、町政に役立たせていただきます。抜粋したものを記載いたします。

第三セクターについて

- ・五ヶ瀬町において大事な産業である。
- ・町産ぶどうを使用していることをもっとアピールすべきだ。
- ・木地屋の入浴料の値上げはいかがなものか？
サウナを設置してほしい。
- ・ぶどう生産農家が減少している。
若い人たちの力が必要。
- ・木地屋は休みが多い。町民の施設として考えてほしい。
- ・原点に戻り、住民が応援したくなるように働きかけてほしい。

農林業

- ・畜舎を建てるための補助金を再開してほしい。
- ・駆除した猪や鹿の焼却施設は出来ないのか。
- ・再造林は広葉樹を植栽してはどうか、治山治水の効果が上がる。
- ・町外からの就農者を呼び込むために、住宅・農地・施設を提供してはどうか。
- ・担い手不足が問題である。
- ・作業道の補修に森林環境譲与税を活用できないか。

学校・子育て

- ・小学校の統廃合を考える時期に来ているのではないか。
- ・学校は各地区に極力残してほしい。
- ・G授業の取り組みを町外にアピールして移住者を増やす。
- ・小中一貫の学校を考えてみては。
- ・保護者と子どもの意見を尊重すべき。
- ・不登校の子供を五ヶ瀬町で受け入れてはどうか。

その他

- ・デマンド型タクシーの実現を望む。
- ・中央道の開通後の特産センターのあり方を考えるべきでは。
- ・移住者に暖かい支援をお願いしたい。
移動販売車は便利である。
- ・五ヶ瀬の米・野菜はおいしいので、振興すべきでは。
- ・議員定数について議員はどう考えているのか？

消防本部における調査特別委員会について

西臼杵広域行政事務組合消防本部においてパワーハラスメントと思われる事案が発生し、それに対して百条委員会が設置され、五ヶ瀬町議会より佐藤成志・甲斐義則・太田保義の3名が委員となっています。これまでの経過について報告します。

6月13日 職員が酒席において、部下 8月9日 西臼杵広域行政事務組合議会 臨時議会開催

職員に対し暴言、人格否定と捉えられる発言等のやり取りに関して、パワーハラスメントに該当する行為が発生。

7月20日 新聞に記事が出る。

7月27日 西臼杵広域行政事務組合議会 全員協議会開催

管理者、消防長より事案についての説明。

議員より特別委員会の設置の提案。

8月27日

第1回西臼杵広域行政事務組合議会特別委員会開催

9月27日

第2回西臼杵広域行政事務組合議会特別委員会開催。

10月3日

証人尋問開始・令和7年1月まで全職員36名、管理者、副管理者、退職者等尋問を行う。

12月5日

臨時議会開催 委員長より調査特別委員会中間報告。

3月定例会において、最終報告の予定。



西臼杵広域行政事務組合消防本部

西臼杵広域行政事務組合消防本部におけるパワーハラスメント等調査特別委員会中間報告

令和6年8月27日、広域消防本部におけるパワーハラスメントを調査、検証するため、百条委員会を設置した。

本日まで委員会を15回開催し、現職職員、退職者の45名から尋問協力を頂いている。

一般職員の尋問では、27名中20名からパワーハラスメント被害の証言があり、退職者からもパワーハラスメントを受けた、見た、聞いたという証言があった。

証言の内容は、報道にもあったとおり、個人の容姿や職員の家族に対する誹謗中傷、訓練中の暴言・暴力・酒席での暴言・暴力、セクシャルハラスメント等、まさにパワーハラスメントの定義を網羅したものであった。一方、複数名いる加害者の証言では、パワーハラスメントの認識が欠落しており、パワーハラスメントが常態化していたことが明白となった。

また、平成25年の消防常備化準備室時代から現在に至るまで、適応障害、うつ病などの診断を受けて休職した職員があり、憂鬱な精神状態で睡眠導入剤を服用したなどの証言も複数あったことから、精神不安定による事故やケガ等が懸念される状況であったことも推察される。

現職職員においては、現在、4名が本年度中の退職の意向を示しており、また、退職を検討していると証言した職員も6名程いる状況である。

令和3年以降、消防長により、ハラスメント撲滅対策として、消防本部内の定例会での発信、ハラスメント委員会の設置、外部講師によるハラスメント防止講習会などを実施したとのことであったが、十分な機能は果たしていなかったものと思われる。

一般職員への尋問において、上司へ相談したが改善されなかったため、退職者、参与、正・副管理者へ相談したという証言もなされたことなどから、今後は管理者、参与についても証人尋問を行うこととしている。最後に、尋問した職員の中には、パワーハラスメントによる精神的苦痛を思い出し、あるいは、パワーハラスメントを受けた同僚や部下を救えなかった後悔の念などの思いから、涙が止まらず、言葉にならず、証言を中断する者が多数いたことは、委員の胸にも鮮明に残っている。

志高く、希望をもって消防士となり、郡民の生命・財産を守るという崇高な精神を持つ若い職員たちの尊厳を傷つけ、消えることのない深い傷を心に負わせた責任は極めて重大であり、本委員会は今後さらに、深く検証を進めていくことを申し上げ、中間報告とする。

西臼杵広域行政事務組合消防本部における

パワーハラスメント等に関する調査特別委員会
委員長 佐藤さつき

明日を駆ける！

エミリー・ハメットさん(29)
アメリカ・オハイオ州



エミリーさんは昨年4月から町内の小中学校にALTとして着任されました。

趣味は日本語の勉強と、最近は編み物に夢中だそうです。

学生の頃はソフトボールの外野手の選手としても活躍されました。現在は、アメリカのことを紹介したり、子供たちが外国語に親しむように日々努めているそうです。

五ヶ瀬町の印象を聞くと、地域の活動やコミュニティ(地域に住む人々が結びつき、助け合い支え合う関係性のある共同社会のこと)が強く感じられ、また新緑や紅葉が素晴らしく、雪も楽しみだそうです。まずは、五ヶ瀬の地の利を生かして九州内を旅したい。(佐賀県に行っていない)夢は、日本中を旅してみたい。特に日本に興味を持つきっかけになった長野県の温泉に浸かるサルを見てみたいそうです。

最後に一言、「五ヶ瀬に来て多くの人にお世話になっています。これからも一緒に楽しく英語を学びましょう。」

…… 地域の話題 ……

しめ縄づくりを体験

鞍岡小学校の4～6年生15名が、11月28日鞍岡地区複合型施設「くらら鞍楽」で、クリスマスリースやしめ縄作りを体験しました。

これは学校のクラブ活動の一環として行ったもので、しめ縄づくりの師匠さんや、鞍岡大好き女子会メンバーでつくる「綿の会」の指導で、2班に分かれて思い思いの作品作りに挑戦しました。

完成品は各家庭に持ち帰り飾っているそうです。



上手にできました



編集後記

町民の皆様、明けましておめでとうござい
ます。

ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、令和4・5年の台風被害の復旧が終わらない中で、8月に台風が接近して町内にも災害をもたらしました。被災された皆様にはお見舞い申し上げます。そんな中でも、五ヶ瀬ハイランドスキー場が3年ぶりに営業再開という明るい話題もありました。沢山の方にスキー場に来てもらって、過去の賑わいが復活するいいなと思います。令和7年は災害がない平穏無事な年になることを祈るばかりです。議員一同、五ヶ瀬のより良いまちづくりに精進してまいりますので、ご指導・ご鞭撻をお願い致します。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを願っています。

田中 春男

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は3月開会予定
です。
傍聴の申し込みは、お気軽に
議会事務局にお尋ねください。
TEL82-1711(議会事務局直通)

発行責任者 議長 佐藤 成志
議会広報編集委員会
委員長 矢野 宏
副委員長 本田 俊徳
委員 太田 保義
委員 田中 春男
委員 小笠原 将太郎
委員 甲斐 義則